

二小の風

学校通信

平成31年3月1日

3月号

天理市立二階堂小学校

文責 北野 博康

<http://academic1.plala.or.jp/nisyo/>



いよいよ最後の月に — 卒業・修了です —



平成30年度もいよいよ最後の1ヶ月を残すのみとなり、登校できる日が残り6年生が14日、在校生が15日となりました。6年生教室には、卒業までの残り日数を書いたカウントダウンカレンダーが貼られ、1日1日を大切に過ごすことを心がけてくれています。卒業式が楽しみです。

また、5年生や4年生は、通学班長を6年生から引き継ぎ、旗を持って先頭に立ち、張り切って登校してくれています。立場が人を育ててくれているようです。

どの学年もラストスパートです。もう一度、できるようになったこと、まだまだできていないことをふり返り、残り数日、次の学校、次の学年につながるようがんばってもらいたいです。

最後の参観（低・中・高）では

低・中・高学年に分かれて、最後の参観を行いました。1年、2年では、「できるようになったよ。」で、今年1年でできるようになったこと

や学習した内容をふり返ったりしました。

3年生と5年生は、社会科や総合的な学習の時間で調べた内容を資料を作って発表しました。4年生は、二分の一成人式で、保護者の皆さんの前で、将来の夢や感謝の気持ちを込めて歌を発表しました。どの学年も親子茶話会がもたれていて、和やかな雰囲気でした。

そして、6年生は、謝恩会形式で、合奏の披露の後は、幼いときの写真をスクリーンに映し「君の名は？」というクイズで楽しみながら、子ども達の成長をふり返り、6年間の参観を終えることができました。

各学年の学級委員さんにはたいへんお世話をおかけしました。ありがとうございました。

体験入学・給食体験(1年・5年)

来年度、入学する幼稚園や保育所の園児が小学校に来て、体験入学を行いました。校舎内を案内してもらい、1年生教室に入りました。授業の様子を見学した後、鉛筆を持って線なぞりを体験しました。1年生が横について鉛筆の持ち方などをアドバイスしたのですが、1年生が頼もしく思えました。園児達は緊張気味でしたが、入学式が記された4月のカレンダーを1年生からプレゼントされ、にっこりしていました。



また、保・幼・小の連携事業で嘉幡保育所と二階堂幼稚園の園児が小学校に来て、5年生とゲームを楽しんだ後、一緒に給食を食べました。入学後、給食に対する抵抗がないように、そ

して、何かと1年生と関わることの多い新6年生（現5年生）とつながっておいてほしいというねらいがあります。



5年生は、戸惑いながらもやさしい表情で接してくれていました。

感謝の気持ちで6年生を送る会

お世話になった感謝の気持ちを込めて、6年生を送る会を行いました。新しい児童会役員の初仕事です。



各学年から趣向を凝らした出し物の発表とともに、6年生に向けた感謝の言葉やお祝いの言葉がありました。これまで送る側だった6年生。今回は一番前に座り、心温まる言葉のシャワーを浴びながら各学年の発表を照れくさそう聴いていました。最後は、1年生から6年生に手作りのCDケースのプレゼントがあり、6年生からは、分団旗と雑巾を学校にプレゼントしてくれました。

この6年生を送る会が終わると、いよいよ6年生は卒業式モードに入っていきます。